

平成20年12月26日

周南市長 島津幸男様

鹿野地区地域審議会  
会長 一原英樹



### 新市建設計画進捗状況調査報告に対する提言について

平成20年5月22日開催の鹿野地区地域審議会において、新市建設計画の検証として、進捗状況調査の報告を受けたことにより、鹿野地区地域審議会として見直し協議の検討をいたしたところでございます。

鹿野地域における現在までの前期計画により、乗合タクシーの導入、CATVの整備、(仮称)コアプラザ鹿野整備の着手、鹿野小・中体育館の整備など、住民サービスの向上に推進されておられることに厚く感謝いたしております。

さて、合併後5年間で地方を取り巻く環境は大きく変化し、計画の実績をみると、多くの事業が未着手等の状態になっております。

つきましては、事業における今後の方向性や計画に関連した事項等の協議した結果を、下記のとおり提言としてとりまとめましたので、特段のご配慮をいただきますようお願いいたします。

#### 記

- 1 未着手事業 別紙のとおり
- 2 継続実施中の事業（国、県道改良事業、林道高岳線開設事業、老朽水道管の更新事業、下水道整備事業）については、引き続き継続実施されるよう要望する。
- 3 (仮称)コアプラザ鹿野整備事業については、現在整備中ではありますが、計画の中に位置付けられているものであり、さらに鹿野地域の団体長、市民の方々からの強い願いである「文化ホール」の建設については、総合計画の後期計画において早期の建設を強く要望する。

4 周南市全域にまたがり、鹿野地域に関連するファンタジアファーム整備事業については、今後鹿野地域の「都市と農村の交流」を促進し、地域の活性化につながる重要な施策として大いに期待されている。現行のせせらぎ・豊鹿里パークの事業との連携をとり、より一層の交流を促進するため、中山間地域における整備を強く要望する。

5 鹿野地域は農林産物の生産の場であるとともに、国土の保全や水源の涵養、市民へのやすらぎの場の提供など、多面的な機能を有しており、市民共有の貴重な財産とも言える地域である。しかしながら、過疎化・高齢化に伴い、小規模・高齢化集落が増加し、集落機能が低下しつつあるなど、厳しい状況におかれている。

このような状況の中で、新市建設計画に関連した住民の安心・安全を確保するための諸施策（地域医療の充実、防災体制の整備や生活道・危険橋梁の調査・整備、公共施設の不要物件の処理・有効活用、雪害対策等）は必要かつ重要となっており、早期の実施を強く要望する。

## 別 紙

### 新市建設計画未着手事業（鹿野地域）

下記分野ごとの優先順位により、過疎地域自立促進計画等に基づき、過疎債や合併特例債を有効活用し、事業の早期実施を要望する。

なお、7、8の事業については、状況の変化により、事業の再検討を要望する。

#### 記

#### 1 市道関係

- (1) 市道鹿野片山線改良
- (1) 市道西谷線改良
- (3) 市道大潮小河内線改良
- (4) 市道下石ヶ谷線新設
- (5) 市道小泉線小泉橋改良

#### 2 公営住宅関係

- (1) 大地庵住宅建替事業
- (2) 柏屋住宅建替事業

#### 3 文化・スポーツ関係

- (1) 鹿野プール改修事業
- (2) 鹿野庭球場改修事業
- (3) 天体観測施設整備事業

#### 4 産業振興関係

- (1) 林道仁保谷線舗装工事
- (2) 林道芋堀線改良工事

#### 5 県道関係

- (1) 県道下松鹿野線道路拡幅改良  
(県事業であるが、早期の整備が必要であり要望する。)

#### 6 公園関係

- (1) 合併記念公園化事業（リーディングプロジェクト）  
(周南市全域の事業として、早期の整備を要望する。)

7 教育関係

(1) 教職員住宅改築事業

8 生活環境関係

(1) ストックヤード整備事業